

# さくらみ川



4月29日夕刻。修繕工事着手に先立ち、仮遷座祭が厳肅に斎行されました。本殿での祭典ののち、御神体をお遷しする遷御の儀が、すっかり明るさの消えた浄暗のなか、神職、総代、工事関係者らの奉仕で、古式にのっとり行われました。社殿修繕工事のおわる11月まで、大神様には社務所神殿にお鎮まりいただき、氏子崇敬者、そして工事の様子をお見守りいただきます。(写真 笹木文夫氏)

第五十八号 平成十八年七月十五日

熱日高彦神社社務所

電話 〇三四 六一〇四一

<http://hitaka.org> [auhhitaka@hitaka.org](mailto:auhhitaka@hitaka.org)

## 修繕工事経過のご報告

御鎮座千九百年を控えての、熱日高彦神社殿並びに境内修繕事業は、皆様のご協賛を得、おかげさまで順調に進捗しております。

春祭終了後より用材の製材にかかり、連休明けから幣殿の解体、本殿の曳き工、社殿周りの排水工、広庭の漉き取り工、参道拡張と、梅雨のあい間をぬって工事は進んでおります(2ページ)。この間、既存施設の修繕であるがゆえ不具合などもありましたが、神社関係者と業者で工程会議を重ね、知恵を出し合ってより良きほうへ進めていること、ご報告いたします。

ただ、特に社殿については、本殿が三百年以上、拜殿で百五十年ほど経っていることから、予想以上に傷んでいることがわかりました。子孫に負担をかけぬよう今なすべきことをするという当初からの方針ですので、何とかできる限りを尽くしたいと努力しております。

見込み以上に経費もかかることではありますが、徐々に氏子以外の崇敬者からもご協賛をいただけております。これからさらに働きかけを広げて行く考えですが、氏子の皆様からも親族、お知り合いなどに、ぜひお声がけをいただければ幸いです。

十一月には予定通り、修繕成った御社殿へ御神体をお遷しする正遷座祭を斎行致したく存じます。今後とも更なるご協力をお願い致します。



# 事業だより 修繕工事写真日誌



5 / 28

本殿仮曳き工事



4 / 14

境内林を製材(名取)



6 / 8

本殿曳き工事



6 / 5

本殿基礎・柄石設置



6 / 23

本殿基礎周り御影石設置



6 / 22

参道拡張・斜面整地



7 / 11

拝殿本柱修繕工事



6 / 24

拝殿周り排水溝埋設





お日高さんの自然

ヘクソカズラ (屁糞葛) アカネ科

野山や道端に多いアカネ科の多年草で、柔らかな毛の生えた茎でやぶや垣根に巻きつく。愛らしい花なのに「屁糞葛」とは余りにもかわいそうなので、最近では、花の中心の赤をお灸の火と見立ててヤイトバナ(灸花)という名で呼ぶのが一般的になった。又、花の形を若い娘の早乙女笠に見立ててサオトメバナ(早乙女花)と優雅な名で呼ぶこともある。

ふつふ多年草とされるが、つるの一部は木質化することがあり、強くしなやかなので昔は柴を束ねるのに利用された。又、実の絞り汁はひびやかぎれの民間薬にもされたという。

花期は八〜九月。花筒の中には細かい毛が密集しており、花は確実に花粉を運んでくれるハチだけに報酬の蜜を支払う。花粉や雌しべに触れずに蜜を「盗む」アリに対しては毛のバリケードで進入を防ぐ。秋にはつぶらな金色の実が熟すが、鳥たちにはあまり人気(鳥気?)がないよう冬まで残っていることが多い。そこで人はリースなどの飾りにと失敬することもある。

それにしても、花や茎葉を指先でもんだときのあの悪臭!元凶はメルカプタンという揮発性のガスといわれている。細胞が傷つくと細胞中のペドロシドという硫黄化合物が分解してメルカプトンを生じ、独特の臭いを出すのである。

『角田市の自然』 植物編 (市教育委員会) より



このペドロシドという成分は昆虫が嫌う成分(忌避物質)として機能するので、ほとんどの昆虫はヘクソカズラには近づかない。ところが、自然界は不思議である。このいやな物質を巧みに利用して、外敵から身を守っているしたたかなアブラムシがいる。その名はヘクソカズラヒゲナガアブラムシ。ヘクソカズラの汁を吸い、ヘドロシドを体内に蓄積し、天敵のテントウムシから襲われるのを防いでいるのである。植物の防衛物質をちゃっかり自分の防衛に利用しているのである。(文/小島和夫氏)

ご奉納・ご奉仕

米、野菜、果実など奉納

各区 神社総代各位(春季例大祭)

一区 齋藤實、佐藤雅邦、只野吉次、赤坂敏栄、

- 黒須嘉次男、木幡市郎、佐藤幸男、畑栄一、
- 佐藤俊一、只野りつ子、赤坂武雄、只野亨、
- 齋藤仁、戸村賢治、只野政義、佐藤力男
- 三区 佐藤善一、三品久志
- 四区 佐藤敏、佐藤正雄、すし和(料理)
- 小形一夫(樽酒)
- 横倉 柄目克子、大張 菅沼昭男

境内整備など奉仕

各区 神社総代各位(事業に伴う境内整備など)

一区 齋藤公一(境内整備) 山家隆(神木養生)

齋藤勝二(水道設備)

二区 渡辺郷司、齋藤仁(境内整備)、門馬強

三区 佐藤善通(神輿木札・神輿トラック)

佐藤善一、佐藤勝征(境内整備)

枝野 畑中工務店(移動バス) 以上敬称略

社頭暦

七月 一日 月次祭

一七日 海の日

八月 一日 月次祭

五日 神社例祭

七日 七夕祭り

一三〜一六日 祖霊祭 お盆

一五日 忠魂碑慰霊祭(午前9時)

九月 一日 月次祭

一八日 敬老の日

二三日 秋季皇霊祭 秋分の日



編集後記 工事終了まで雨が降りませんように!